



# 士別ロータリークラブ会報

創立1960.3.24 RI第2500地区

vol. 15 No. 2240

2008-2009年度国際ロータリーのテーマ



**夢をかたちに**  
**Make Dreams Real**

2008—2009年度RI会長  
季 東建

例会場／士別グランドホテル  
例会日／毎週月曜日 12:10～13:10  
事務所／士別グランドホテル TEL (0165) 23-1234  
会長／織戸 俊二  
副会長／神田 英一  
幹事／尾崎 学



しずお農場

百瀬達夫画

第2321回例会 2008年11月17日（月）

今日のプログラム .. 夜間例会（移動・かわにし丘レストランμ）

■前週（11月10日）の記録■ ・普通例会 ・理事会 ・誕生祝い ・会員卓話

司 会	山口哲雄会場監督
齊 唱	奉仕の理想
本日の出席	出席率83.87% 会員62人中 出席者52人
本日の欠席	加藤 博、黒田康敬、小竹一男、汐川泰晴、鍋島 秀、深尾幸雄、本山忠之、今井 裕、神田英一、谷 温恵
メイクアップ	
ビクター	
ゲスト	
ニコニコBOX	山本 栄、宮田喜久三郎、千葉繁夫（誕生祝い）、千葉道夫（ロータリーゴルフ優勝） 国森和麿（ロータリーゴルフ年間優勝） 累計176,000円

## 例会予定

■11月例会日 「ロータリー財団月間」

- 11月3日（月）休会（法定休日・文化の日）
- 11月10日（月）普通例会・理事会
- 11月17日（月）夜間例会（移動例会）
- 11月24日（月）休会（振替休日）

■12月例会日 「ロータリー親睦活動月間」

- 12月1日（月）普通例会・年次総会・理事会
- 12月8日（月）ファミリーパーティー
- 12月15日（月）普通例会
- 12月22日（月）普通例会
- 12月29日（月）特別休会

## ■会務報告 ————— 織戸俊二会長

○パスト会長会の総会が11月7日に居酒屋やまもとで開催され、オブザーバーを含め20名ほどが参加。役員改選は恒例により会長就任年次順となっており、会長中村徹雄会員、副会長菅原清人会員、輿水広志会員に決定しました。

指名委員会で選考させていただいた件は、理事会にて承認され、12月第1例会年次総会にて、パスト会武田会長より報告させていただきます。

○北部ガスセンター理事長の福島会員が08年度北海道産業貢献賞を受賞されました。多年にわたって産業の振興に貢献し、功績が顕著な人への受賞です。福島会員おめでとうございます。会員一同、心よりお慶び申し上げます。

## ■幹事報告 ————— 尾崎 学幹事

1. 国際ロータリー事務局より、イギリス・バーミンガム国際RI年次大会の案内が届いております。「第100回国際大会を祝おう」をテーマに2009年6月21日～24日まで開催されます。第1次募集締切り12月15日、第2次募集締切りは2009年3月31日となっています。参加・登録されます会員は幹事まで連絡願います。

**【受信文書】**ロータリーの友、カバナー月信の11月号ロータリーワールド、下川RCより11月・12月の例会案内

## 11月誕生祝い



## 本日のプログラム

### ■プログラム委員会 ————— 菊地 博委員長

本日のプログラムの紹介をさせていただきます。本日の会員卓話は、大野会長エレクトより、9月28日留辺薬RC創立50周年式典に出席を頂いた折に、基調講演として、これからのロータリーと題して、RI会長代理藤川2800地区パストガバナーのお話から、その内容の一部をお話いただきます。

## ■会員卓話 ————— 大野裕一郎会長エレクト 基調講演報告

講師は藤川享胤（きょういん）氏で、山形県鶴岡ロータリークラスに籍を置くパストガバナーです。宗教法人（曹洞宗）般若寺の代表役員で61歳です。

以下、内容の骨子です。

演題は「これからのロータリー」。

四大奉仕導入と「決議23号-34号」（ロータリー哲学に基づいた奉仕実践の基本姿勢）からロータリーの歴史に残る一大騒動の勃発に触れ、行動派（実践派）と理論派（養護派）の論戦の拡大。両派の見解の紹介。

ロータリーはひとつの人生哲学「利己と利他の調和を図る人生哲学」、「広くすべてのロータリアンが個々の力を動員するものの方が、ロータリー精神によりかなっているといえる」とし、1927年の国際大会で四大奉仕の考え方が導入され、「奉仕活動の実践」と「クラブ管理運営の実態」が整備され、ロータリーは順調に拡大・発展。

1980年頃より「世界中の児童にポリオの予防接種をしよう」という意欲的なプログラムの計画に着手。

一方で「決議23号-34号」の手続要覧からの削除（83年）に対する日韓RIの存続運動の展開が行われたことなど。さらに2004年の行動派と理論派の論争の再燃、今日のロータリーの大きな岐路への言説（例会出席の重要性や奉仕理念の研鑽がおろそかになっていること）。「職業奉仕」の意識が薄れていくことへの危惧に触れ、心構え3点を挙げている。

### ●ロータリー財団について ③

#### 大塚勝人ロータリー財団委員長

2人目の講師、モニカ・ジンテイン氏は現在第3400地区ジャカルタ・ガンビアRC識字率担当役員であります。地区で行っている識字率の活動状況を説明していただきました。特にワチャナー（国語教育プログラムで読み聞かせ・お絵かき・ビデオ・屋外遊技・世界の本を読む日をもうけている）等と細かに説明していただきました。現在、この活動を15地域で行っているようですが、今後100から150地域に広げて行きたいと意欲を表していました。

当地区との交流も盛んに行われ、我がクラブがマッチング・グラントで大変お世話になった、笹谷今年度ガバナー補佐との交流も深く、日本の紙芝居の様な物をこの教育プログラム（ワチャナー）に取り入れてはどうか等とアドバイスもされたそうです。

今回の講演を聞き、ロータリークラスの大きな目的である、国際親善、社会奉仕の実践を身近に感じたような気が致します。

この後各委員会からの報告があり終了致しました。

（以下続く）